

事業実施報告書

法人名 特定非営利活動法人西川木楽会

事業名	「次世代へ繋げ！奥武蔵の森づくりプロジェクト」
助成事業の種類	S D G s 推進事業・地球分野
1. 事業の目的	<p>28年に渡り続けてきた奥武蔵のユガテの森作りの活動を次世代に繋げることを目的としている。</p> <p>近年、当会の主要メンバーの高齢化が進んでいることから西川林業地の復興も若い担い手を早急に必要としている。そこで当会のもうひとつ活動目的である、森林での様々な体験活動を通じた森林環境教育、森林整備への参加、健康づくりや生きがいの場としての森林の活用等、積極的に森林を利用しながら森林を守り育てていくことを持続可能にする。</p>
2. 事業で取り組んだ地域や社会の課題	<p>日本の社会的背景として、少子高齢化問題がある。その中で如何に森林や林業に目を向けてもらえるような取り組みが必要かを考えた時に、参加しやすい楽しいイベントを交えながら、持続可能な活動を地域と連携を図りながら進めていく必要がある。</p>
3. 取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	<p>新しいホームページ・三つ折りパンフレットの作成</p> <ul style="list-style-type: none">・トップページをカラフルな木のイラストで、馴染みやすいデザインにし、お問い合わせ・お申し込みホームやユガテの森マップを掲載した。・三つ折りパンフレットについてもユガテの森のマップとユガテの森づくり活動やイベントを中心に、行ってみたいと思えるようなパンフレットの内容を心掛けて制作依頼をした。 <p>次世代の森づくりシンポジウム</p> <p>令和5年1月20日に飯能市林業センターにおいて、恒次祐子東京大学大学院教授をファシリテーターとして、若手林業家の井上峻太郎氏、岩田雄介氏、田中新吾氏と、飯能市森づくり課から淀川茂氏をパネリストとして迎え次世代の森づくりについて、現状の課題と課題解決に向けての取組等についてパネルディスカッションを行い、行政と民間が協力して取り組むことが重要であることが確認される内容であった。参加者はコロナ禍ということもあり会場は35名までと制限があるなか、参加者19名、登壇者5名、撮影</p>

クルー2名、スタッフ5名で、総勢31名で開催した。当初予定していたZoom配信が電波状況が悪く出来ず、YouTubeを作成し配信することにした。

次世代の森づくりイベント

当初企画していた令和4年11月26日の次世代の森づくりイベントが雨のため中止となり、改めて令和5年2月5日ユガテの森において、18歳以上という条件付きで募集、17名の方に参加いただき西川木楽会の歴史、森づくりをする意味についての講義の後に、玉切り（伐採してある木をキノコを栽培する楢木約1メートル）にしたコナラを引っ張りだこ（ワイヤーを使った機械）で引き上げる様子を見学、楢木にシイタケの植菌作業、竹炭焼き用の竹割、間伐材の製材等の体験をしてもらった。

時期	内容
7月	
8月	新ホームページ作成準備
9月	新ホームページ作成具体的な内容検討
10月	新ホームページテスト開始
11月	11月26日森づくりイベント雨天中止
12月	三つ折りパンフレットの作成準備
1月	次世代の森づくりシンポジウム開催
2月	2月5日次世代の森づくりイベント実施

広報実績について

作成した1,000部のパンフレットについては、500部を市役所・公民館・図書館等へ3月末までに配布し、適宜補充すると共にユガテの森でもハイカー等へ配布する。

4. 事業実施により達成した成果の具体的な内容

1月20日に開催した次世代の森づくりシンポジウムについては、コロナ禍で人数制限がある中で19名の参加者に会場いただいた。シンポジウムの最後に司会者から二人の参加者に質問を伺ったところ、どちらの方も登壇された若い林業関係者の方に、これからも林業、森林保全に頑張ってくださいと励ましの言葉があった。

2月5日に実施した次世代・森づくりイベント17名の参加者の中にはホームページを見て申し込まれた人もいた。また、入会を希望する方が数名いたことを成果として挙げる事が出来る。

アンケート結果として、ホームページサイトを見て参加した方が8名で、全体を通して、とても満足12人、満足4名、無回答1

	<p>名だった。参加者の意見・継続して参加したい。・とても楽しかった。・いろいろ勉強になった。・たくさんの体験をさせていただき楽しかったです。・普段体験できないことをできてうれしかった。おいしくうどんをいただきました。とても安く申し訳ないようでした。暖かい季節の方が良いと思いました。等の意見や感想があった。</p>
5. 費用面での工夫	<p>当初計画していた 11 月 26 日の次世代の森づくりイベントが、雨のため中止となり、急遽 2 月 5 日に再度実施計画を立てる中で、参加費を 1,500 円から 500 円に変更し参加しやすい金額にして、参加者を募り 17 名の方に参加していただくことができた。</p> <p>消耗品費の鋸や手袋等の購入については、店を回り、安かった方で購入したり、謝金のご祝儀袋等は百円ショップで購入した。また通信運搬費については、イベント参加者への連絡等は、郵送や電話は避けメールでのやり取りで行うよう努めた。</p>
6. 地域社会への還元について	<p>会員が増えユガテの森づくりを通して、ユガテに足を運んでもらうことは、森林環境や里山保全に繋がる活動が活発になり、西川木楽会の目的である「森づくり・地域づくり」が継続的に行われることで地域が活性化される。</p>
7. 来年度以降どう事業を継続し発展させていくか	<p>リニューアルしたホームページや SNS、三つ折りパンフレットを積極的に活用し、新規会員を獲得するための努力を続けること、また新規会員が活躍できるように環境を整えることが大切であり、西川木楽会の中にも若い人たちに入会して貰おうという機運が高まっており、入会希望者も数名いるので大事に育てたい。今回の事業を足掛かりに、今まで以上に持続可能なものにするために、飯能市観光・エコツーリズム課や地域の人と連携を図り、都心から 1 時間圏内という立地条件を活かし自然景観の魅力を発信、足を運んでもらえるよう努める。また森づくり課や今回協力いただいたハンノウ大学と共に自然環境教育、林業の復興や保全活動に努め事業を展開していく。</p>